



### ■■プロフィール■

猪奥美里（いおく みさと）  
1980年奈良市秋篠町生まれ  
平城小学校・平城中学校／ドイツギムナジウムジーク留学／奈良大学附属高等学校／立命館大学・立命館大学大学院（環境経済学専攻）／衆議院議員秘書  
2011年奈良県議会議員初当選  
2015年4月12日2期目当選  
◆厚生委員会

観光振興対策特別委員会所属

### ■12月議会代表質問登壇

12月7日、奈良県議会代表質問に登壇しました。代表質問は1年ぶり2回目です。今回質問した5テーマのうち、今月号は『生活困窮者自立支援制度』を取り上げます。

### ■生活困窮者自立支援制度とは何か

4月から生活困窮者自立支援制度が始まりました。この制度は、これまでの金銭援助絶対主義から困窮を社会病理と捉えケアする必要性を持たせた戦後の大いなる転換点の一つ

であり、民主党政権でなすことが出来た成果の一つでもあります。この法律によって、福祉事務所を設置するすべての自治体が生活困窮者に対する自立支援に取り組むことになりました。

### ■なぜ制度が必要なのか

いま日本では生活保護世帯の数が過去最高を更新し続けています。なかでも、障害もなく高齢でもない働くことができる世代に増えています。

日本の社会保障の制度は、企業に強く頼る構造にも関わらず、特にリーマンショック以降は、終身雇用の幻想が崩れ、急に仕事がなくなる恐れや、また非正規雇用が増加の一途をたどっている今、だれでも生活困窮につながる可能性があります。ところが、これまで生活が著しく困窮したときに頼ることができる制度は生活保護しかありませんでした。

### ■生活保護では不十分

一方、日本の社会保障支出はオランダと同水準ながら同国との比較では、子どもの貧困率は2.5倍、女性の貧困率は2.7倍、高齢者の貧困率は14倍、5人に1人の高齢者は貧困層です。つまり、お金は使っているものの、貧困を止めるための施策としては不十分なのです。

### ■お金だけではダメなのか

困窮者が直面している課題は失業だけではありません。例えば、家庭の不安定さ、家族の介護、十分な教育を受けていな

いこと、ひきこもり、心身の障害など、複数の問題が絡み合っています。

そこで単なる金銭的な保証ではなく複合的な問題に対応できるよう『生活困窮者自立支援法』ができ、生活保護の前にもうひとつのセーフティネットが張られ、困窮の根本原因を解決する寄り添い型の支援制度が作られたのです。

制度の具体的な取り組みとして、必須事業である自立相談支援事業に加え、4つの任意事業（①就労準備支援事業②一時生活支援事業③家計相談支援事業④学習支援事業）が準備されています。

仕事がないと困窮からは抜け出せない、仕事を得てもお金の使い方に分別がなければ再び貧困に陥る。それを考えれば、いずれも重要な事業です。

私が特に大切だと考えているのは『学習支援事業』です。なぜなら学歴は貧困と密接に関連しているからです。いま生活保護を受けている世帯主の学歴を見ると72.8%が中学校卒か高校中退であり、生活困窮は子どもたちの進学や就労の継続に大きな影響を及ぼしています。親の年収と子どもの学力との相関関係はさまざまな調査で明らかにされています。学歴だけがすべてではないものの、中卒で社会に出て、仕事を見つけ、社会の中で生きていくことは容易ではありません。この事業は、「世代を超えた貧困

## 11月スケジュール

- 1日(日)支持者面談
- 2日(月)情報労連・NTT 労組自治体議員団 第18回幹事総会・全国研究集会@名古屋
- 3日(火)情報労連・NTT 労組自治体議員団 全国研究集会、  
NTT 労組西本部自治体議員団会議@名古屋
- 4日(水)民主党大学打合せ、青年委員会、2015 確定闘争 11.4 決起集会
- 5日(木)第10回マニフェスト大賞 プレゼン研修大会@東京
- 6日(金)第10回マニフェスト大賞 授賞式@東京
- 7日(土)民主党京都府連政治スクールオープンキャンパス
- 8日(日)西大寺北地区自主防災防犯訓練、第2回県民交流大会
- 9日(月)会派会議
- 10日(火)レク、大阪府知事選挙・市長選挙応援、奈良青年会議所活動
- 11日(水)連合奈良と民主党奈良県連との政策協議
- 12日(木)休み(ノロウイルス)
- 13日(金)休み(ノロウイルス)
- 14日(土)民主党大学打合せ、能楽座 大淀町公演
- 15日(日)奈良マスターズ水泳大会、民主党大学
- 16日(月)民主党地方自治体議員フォーラム総会・全国研修会@東京
- 17日(火)民主党地方自治体議員フォーラム全国研修会、  
全国幹事長会議、自治体青年政策ネットワーク勉強会@東京
- 18日(水)自治体青年政策ネットワーク勉強会@東京
- 19日(木)いおくニュース印刷、大阪府知事選挙・市長選挙応援、  
民主党奈良県連「生活困窮者自立支援事業に関する勉強会」
- 20日(金)大阪府知事選挙・市長選挙応援
- 21日(土)休み
- 22日(日)ホスピスシンポジウム「奈良県のがん医療を考える」
- 23日(月)シンポジウム「滋賀の原子力災害対策について知ろう」
- 24日(火)財政課打合せ、会派会議、観光振興対策特別委員会
- 25日(水)エネルギー政策推進特別委員会、  
ローカルマニフェスト地方議員連盟関西勉強会
- 26日(木)キャラバンポスティング、政策検討会議
- 27日(金)がん患者会との懇談会
- 28日(土)12月代表質問調査・準備
- 29日(日)12月代表質問調査・準備
- 30日(月)12月代表質問調査・準備

〒631-0817 奈良市西大寺北町1丁目1-16 岡本ビル103号

TEL 0742-53-1093 FAX 0742-53-1094

メール [info@ioku.jp](mailto:info@ioku.jp)

ブログ <http://ameblo.jp/1093310/>

フェイスブック <http://www.facebook.com/misato.ioku>

ホームページ <http://ioku.jp/>

↑過去のニュースはこちらをご覧ください

(表からの続き)

の連鎖を断ち切る。そして、どのような親の経済状況でも少なくとも高校は卒業させたい。」そんな思いで制度化されているのです。

### ■進めぬ「学習支援」

全国平均で33%が実施される中、奈良県内の実態は7%。県が王寺町で実施している一つのみです。全国一律の支援制度といえども、実際は大きく地域間格差が出ています。生活困窮者自立支援制度は、県庁内の連携は元より、県と市そして福祉と雇用の連携、縦割り行政の克服など、これまでの自治体行政のあり方の転換を迫られています。

国の制度設計では市単位だけの設置のみですが、県や複数市との共同設置を可能とすべく奈良にあった形でできる様国にも働きかけてまいります。

### ■奈良市の相談窓口

くらしと仕事支援室

市庁舎中央棟2階

くらしとしごとサポートセンター

TEL : 0120-372-310

ポスティングのお願い

このいおくニュースは、いおく、事務所スタッフ、そしてボランティアの皆さんの手配りでお配りしています。議員って何をしているか分からない！そんなお声を良く聞きます。いおくが何を考え、何をしているか皆さんに知っていただきたいと考えています。少しでも結構です。ご自宅の周りや散歩コース等お手伝いください。ご協力いただける方は、下の連絡先までご連絡ください。